

# 新型コロナウイルスワクチン接種後に高齢者と接する際の留意点

私たちが新型コロナウイルスワクチン接種後に高齢者と接する際に留意すべき感染対策をまとめました。



## ワクチン接種後の高齢者施設職員の留意点

### ◆出勤前に健康チェック

- ・発熱、発疹、目の充血、風邪症状（咳、鼻水、鼻閉、咽頭痛）、下痢などがいないことを確認してから出勤しましょう。
- ・症状がある場合は、出勤せず自宅から欠席の連絡や調整をしましょう。
- ・周囲に新型コロナウイルス感染症患者がおり、濃厚接触者である場合は、保健所、施設の指示に従いましょう。
- ・軽い咳が出る場合や体調がすぐれないが、すぐに休めないときは、勤務中、不織布マスクを着用しましょう。

### ◆ケアの際には、個人防護具を使用

- ・高齢者と密に接するケアの際は、マスクを着用しましょう。  
飛沫が拡散するケア（口腔ケア、吸引など）、汚物処理の時には、不織布マスク、ゴーグル（フェイスシールド）、手袋、ビニールエプロンを着用しましょう。

### ◆ケアの前後には衛生的な手洗いを実施

- ・目に見える汚れのある際は、必ず石鹸と流水下で手を洗いましょう。
- ・アルコール手指消毒剤を使用しましょう。
- ・手洗いは、以下のタイミングで必ず行いましょう。  
出勤時、ケア前、ケア後、食事の前、トイレの後、掃除のあと、退勤前
- ・ペーパータオルを使用して十分に水分を拭き取りましょう。
- ・手の保湿に心がけましょう。

## ワクチン接種後の高齢者自身の留意点

### ◆健康チェック

- ・発熱、発疹、目の充血、風邪症状（咳、鼻水、鼻閉、咽頭痛）、下痢などがいないことを確認しましょう。
- ・体調がすぐれないときは、ケアサービスの利用を控えましょう。
- ・水分を十分に摂取しましょう。

### ◆手を石鹸で洗う

- ・食事前、トイレ後、レクリエーション後等では、手を洗いましょう。

### ◆人が密となる場所への外出では、マスクを着用しましょう。

## ワクチン接種後の高齢者と一緒に住む家族の留意点

◆積極的にワクチンを接種しましょう。

◆健康チェック

- ・発熱、発疹、目の充血、風邪症状（咳、鼻水、鼻閉、咽頭痛）、下痢などがいないことを確認しましょう。
- ・体調がすぐれないときは、高齢者と接触しないよう心がけましょう。

◆手を石鹸で洗う

- ・帰宅後、食事前、トイレ後、手を洗いましょう。

◆人が密となる場所への外出では、マスクを着用しましょう。

## 高齢者施設に居住している高齢者と面会する際の留意点

◆積極的にワクチンを接種しましょう。

◆面会者の健康チェック

- ・面会者の体調をチェックして、体調が悪い場合は面会を断りましょう。
- ・幼児が面会に来る際には、親が体調管理に十分留意しましょう。

◆手洗いとマスクの着用

- ・面会前、面会後に手を石鹸と流水、もしくはアルコールにて消毒しましょう。
- ・面会に来る方には、できる限りマスクを着用してもらいましょう。
- ・ワクチン未接種の利用者との面会では、面会者は必ずマスクを着用しましょう。

◆飲食は黙食

- ・面会時に高齢者と飲食を共にする場合は、マスク会食や黙食を心がけましょう。

◆個室の使用

- ・面会は、居室もしくは風通しの良い場所で行いましょう。
- ・他の高齢者が、面会者と接触しないように配慮しましょう。
- ・面会時には、居室の換気扇を回したり、窓を開け、換気をしましょう。



◆家族との外出

- ・マスクを着用することができる高齢者は、マスクを着用して出かけましょう。
- ・遠方の場合は、自家用車、介護タクシー等を利用して移動しましょう。
- ・家族と外出する際には、密になる場所を避けましょう。
- ・外出先で食事をとる場合には、換気、手洗い、飛沫予防対策（席の間隔やパーティションでの区切り、個室の利用）、二酸化炭素モニターも活用、店員のマスク着用等の感染対策が実施されている店を選択しましょう。
- ・利用する店は、事前に予約を取り、込み合う時間を避けましょう。